

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

学校通信 ひがしやま 第47号	発行日	令和6年9月17日(火)
	発行者	別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

○別府市歌について。

別府市制100周年の記念式典などで披露される「別府市歌」ですが、大正13年に市制が施行され、昭和10年には亀川町、朝日村及び石垣村が別府市と合併したことを契機として「歌」を制作したそうです。市の規模が「大きくなった」ことから「大別府」と称したようです。

市歌の一番目から四番目の最後のワードは「大別府」。例えば四番目の歌詞は「**世界に比なき 湯の都 日出る国の 限りなく 輝き栄ゆる 理想郷 燦たり我が市 大別府**」です。

ところで本校の校歌の一番目に「由布より明ける 高原の みどりよ開く **大別府**～」とあります。「市歌」の作詞者は異なりますが、「大別府」というワードは当時のトレンドで、未来に向けて、さらに発展する「別府」という街に市民は期待と誇りをもっていたのかもしれないね。

★★

○読書の傾向について。

図書室の石橋さんに教えてもらった本校のよく「借りられている本」についてです。

小学部での順位は、1位「大ピンチずかん.2」 2位「ビジュアル版 妖怪伝説大百科 下巻」 3位「地震サバイバル」 4位「犬がおうちにやってきた！」 5位「スイスイスイーツ」

中学部での順位は、1位「変な家」 2位「変な絵」 3位「探偵ガリレオ」 4位「A 型自分の説明書」 5位「モモ」

読書後の感想が友だちとの「共通の話題」になるとよいですね。長文問題などを読み解くことが「苦痛にならない」ためには、本(新聞なども)に興味を持って、そんな媒体が自分の周りにたくさんあって、自然と慣れ親しんでくれるとよいなあと思います。

★★

○校外における発表の機会について。(9/15)

★第4回多言語スピーチ会(大分県教委、別府市教委後援)

APUプラザ大分(京町)で開催。開会式で実行委員会メンバーの小6の武蔵一恩さん、小5の乾ゆうなソフィアさんが紹介されました。第一部で小2の本多ホアイアン紗和さんが、里帰り時の祖父母の話をしてくれました。会場での武蔵さんのインタビューにも一生懸命答えていました。会場には保護者はもちろん、他市町村の教員、他地域からのzoom参加もありました。

★BLOCK PARTY VOL.3について。(アーティスト・クリエイターによる別府の魅力発信活動事業)

別府ビーコンプラザで開催。ダンスパフォーマンスで、大人に混じって、小5の小島弥恵さんが練習の成果を披露しました。曲に合わせて、表情に変化をつけ、体を大きく使い、指先やつま先にも意識して踊る姿が印象的でした。